

学校心理士 SV 申請に必要な研究業績

- 「学校心理学」の研究業績として認められるもの（IとIIの条件を満たすこと）
- I 「学校心理学」の領域（学校心理学、教授・学習心理学、発達心理学、臨床心理学、心理教育的アセスメント、学校カウンセリング・コンサルテーション、特別支援教育、生徒指導・教育相談、キャリア教育）に関する研究業績であることが基本条件。
- II 学校心理士認定の「新基準」に対応すること。（①は必須）
- ①対象：乳幼児・児童（小学生）・生徒（中学生・高校生等）・学生（大学生等）
保護者、学校の教員
- ②方法：観察法、調査法、実験法、事例研究法、質的研究法、数量的研究法
- ③内容：アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション、コーディネート
学習面、心理社会面、進路面、健康面

- 研究業績により、記載する事項が違います。下記を確認して記載してください。
- 要約提出する主要研究業績については、◎に示すコピーを添付して下さい。

【著書】

◎表紙・目次・奥付のコピーを添付する

- ・ ISBN(国際標準図書番号) があること。
- ・ 『著書・学術論文等の表題』には、書籍名、分担執筆*の場合は執筆章を明記する。
- ・ 『備考』には、出版社名、単著・共著の別、総頁数、分担執筆の場合は編者名、執筆頁数、発表年月を明記。

- *1：共著（複数で共同執筆）は、執筆者名を全部書く。
- *2：『単著・共著』『発表年月』は必ず記載して下さい。

<記入例>

著書・学術論文等の表題	備考
(単著の場合) 学校心理学	本郷書房 単著 全 180 頁 2012 年 3 月
(分担執筆・単著の場合) 第 4 章 子どものアセスメント 学校太郎（編）学校心理学	本郷書房 分担執筆・単著 25-45 頁 2012 年 3 月
(分担執筆・共著の場合) 第 8 章 学習のコンサルテーション 学校太郎（編）学校心理学	本郷書房 分担執筆・共著（学校太郎・心理二郎）25-45 頁 2012 年 6 月 「第 1 節」を学校太郎、「第 2 節」を心理二郎が担当した。 ※共著者の分担が明確でない場合 学校太郎・心理二郎の共同執筆

【研究論文（学会等の機関誌、大学・研究所等の紀要に掲載された論文）】

◎表紙・目次・奥付のコピーを添付する

- ・ISSN(国際標準逐次刊行物番号)があること。
- ・『著書・学術論文等の表題』には、論文名、雑誌名(巻・号・頁)を明記する。
- ・『備考』には、学会名、単著・共著の別*、発表年月を明記する。

*1: 共著(複数で共同執筆)は、執筆者名を全部書く。

*2: 『単著・共著』は必ず記載して下さい。

<記入例>

著書・学術論文等の表題	備考
(単著の場合)	
小学校における学校心理学的研究 日本学校心理学会年報 第4号 24-30頁	日本学校心理学会 単著 2012年3月
(共著の場合)	
中学校における進路面のアセスメント 学校心理学研究 第1巻第2号 24-30頁	日本学校心理学会 共著(心理二郎・機構一郎・学校太郎) 「問題と目的」を心理二郎、「方法」を機構一郎、 「結果と考察」を学校太郎が執筆した。 2012年6月 ※共著者の分担が明確でない場合 学校太郎、心理二郎、機構一郎の共同執筆

【研究論文・実践論文】

◎表紙・目次・奥付のコピーを添付する

- ・商業雑誌（出版社等で発行しているもの、上記の研究論文以外）
- ・ISSN(国際標準逐次刊行物番号) があること。
- ・学校心理学に関する著書（引用文献等記載されているもの）
- ・『著書・学術論文等の表題』には、論文名、雑誌名（巻・号・頁）を明記する。
- ・『備考』には、出版社等の名称、単著・共著の別*、出版年月を明記する。

*1：共著（複数で共同執筆）は、執筆者名を全部書く。

*2：『単著・共著』は必ず記載して下さい。

<記入例>

研著書・学術論文等の表題	備考
心理教育的援助サービスの考え方 児童心理 75巻12号 23-30頁	金子書房 単著 2012年3月
児童理解の方法論 児童心理 75巻12号 23-30頁	金子書房 共著（学校一郎・心理二郎・本郷三郎） 「はじめに」を学校一郎、「児童の捉え方」を心理二郎、「児童理解の方法と課題」を本郷三郎が分担した。 2012年3月 ※共同執筆の場合 学校太郎、心理二郎、本郷三郎の共同執筆

【学会等での発表】

◎表紙・目次・掲載頁のコピーを添付する

※類型Bの方は学会発表（要旨）は研究業績に含めません。

- ・『著書・学術論文等の表題』には、発表題目、学会・研究会名称・場所を明記する。
- ・『備考』には、学会・研究会等発表論文集等の名称、全発表者名*、発表年月を明記。

*1：共同発表の場合は、主たる発表者に○をつける。

*2：『単著・共著』は必ず記載して下さい。

<記入例>

著書・学術論文等の表題	備考
(単独発表の場合)	
学校におけるチーム援助の実践事例 日本学校心理士会第5回大会（平成大学）	日本学校心理士会第5回大会発表論文集 24-25頁 単独 2012年8月
(共同発表の場合)	
学校におけるチーム援助の実践事例 日本学校心理士会第5回大会（平成大学）	日本学校心理士会第5回大会発表論文集 24-25頁 共同 ○学校太郎・心理二郎・本郷三郎 2012年8月